

青森県立柏木農業高等学校

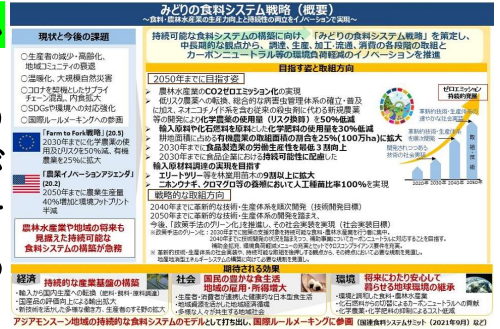
生物生産科課題研究野菜班

高校生ボランティア・アワード2024

小さな菌で大きな未来を救え!!

～高校生初!? BLOF理論を取り入れた農業生産～

農林水産省が2021年に「**緑の食料システム戦略**」を策定し、2050年までに目指す姿・目標を掲げた。この中で、化学農薬や化学肥料の使用量低減、有機農業の面積拡大等の方向性が示されており、私たちができることは何かを考えた。そこで注目したのが「**BLOF理論**」であり、地域と連携しながら取り組むことにした。



■「BLOF理論」とは？

Bio Logical Farmingの略で、生態調和型農業理論とも呼ばれる。農業生産を①アミノ酸肥料・吸収、②ミネラル肥料・施肥、③土壌づくり、の3つの分野に分けて考察し、科学的・論理的に営農していく栽培技術のことである。

■特別講義で学習会！

くろいし有機農業推進協議会の佐藤拓郎会長を講師として招いて学習会を行った。前半は、知識や技術について学び、後半は、納豆菌と酵母菌を使用した培養液作成を行った。



■小さな菌が大活躍!!

学習会で作成した納豆菌と酵母菌の培養液を散布して栽培試験を行っている。また、太陽熱養生処理に挑戦予定である。菌の力で畑を耕し、土壌の団粒化を促して、植物が根を張る場所を増やすことで、収量増加が見込める。さらには、植物がアミノ酸を吸収できることで、病害虫にも強くなり、化学肥料や農薬等を使用しなくても、高品質な農作物の生産(増産)が可能となる。



■青森県立柏木農業高等学校生物生産科野菜班

本校は、農業が盛んな青森県平川市にある。生物生産科では果樹や野菜、作物などについて学習しており、特に私たちは、野菜について学びを深めている。今後も地域と連携しながら地域のために活動していきたいと考えている。

QRコードとSNSリンク集:

- facebook
- Instagram
- YouTube
- Twitter
- 公式LINE
- 学校HP
- TikTok

★拡散希望★
魅力ある柏農生活を発信!!
青森県立柏木農業高等学校
公式ソーシャルメディア運用中!!